

先日はてがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回11月のてがたんは、11月12日(土)で、「カモいろいろ」がテーマです。ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見は、11月3日(木・祝)の9:30からです。よろしく願いいたします。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→市民農園前→手賀沼遊歩道→けやき広場
- 観察日時と天気：2016年10月8日(土) 10:00～12:00 曇り時々雨
- 参加人数：19人(大人13人、子ども6人)
- 市民スタッフ：6人(弘實さと子、小泉伸夫、石原直子、伊東茂子、木村稔、湯瀬一栄)
- 鳥博職員：2人(斉藤安行・美濃亜理彩)

観察した生き物の記録

【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン、バン/セイタカシギ科：セイタカシギ/シギ科：シギの仲間(不明)/カモメ科：クロハラアジサシ、セグロカモメ/タカ科：トビ/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/ハヤブサ科：チョウゲンボウ/モズ科：モズ/カラス科：カケス、ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：ヤマガラ、シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/メジロ科：メジロ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ホオジロ科：ホオジロ/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【両生類】

ニホンアマガエル

【昆虫・クモの仲間】

トンボ目：ナツアカネ、アキアカネ、ノシメトンボ、シオカラトンボ/バッタ目：オンブバッタ、ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、ツチイナゴ、イボバッタ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、モリオカメコオロギ、ミツカドコオロギ、カネタタキ、アオマツムシ、クサヒバリ/コウチュウ目：ナナホシテントウ、マメコガネ/カメムシ目：アブラゼミ/ハチ目：コガタスズメバチ/チョウ目：モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、キアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、キタテハ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、イチモンジセセリ、ヒカゲチョウ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ、アカタテハ、ヒメアカタテハ、ヒロヘリアオイラガ、ホタルガ、オオスカシバ/カマキリ目：コカマキリ/クモの仲間：ジョロウグモ、ナガコガネグモ、ヒメコガネグモ、オナガグモ、オニグモ、ゴミグモ、ギンメッキゴミグモ、ジグモ、コクサグモ

【草の花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、ヒメムカシヨモギ、ヒメジョオン、アメリカタカサブロウ、オオジシバリ、セイタカアワダチソウ、カントウヨメナ、コスモス、キバナコスモス、ハキダメギク、オオアレチノギク、タウコギ/フウロソウ科：ゲンノショウコ/マメ科：ヤマハギ/アゼナ科：ウリクサ/ヒガンバナ科：ヒガンバナ/イネ科：エノコログサ、キンエノコロ、チヂミザサ、イヌビエ、カゼクサ、チカラシバ、スズメノヒエ、シマスズメノヒエ、ススキ、メヒシバ、オヒシバ/ツユクサ科：ツユクサ/ナデシコ科：コシナダレスズメグサ/ヒユ科：ヒナタイノコズチ、ナガエツルノゲイトウ/カヤツリグサ科：ヒメクグ/ミソハギ科：サルスベリ/アオイ科：ムクゲ/ヒルガオ科：コヒルガオ/クマツヅラ科：クマツヅラ/タデ科：イヌタデ、ボントクタデ、ミゾソバ、ミズヒキ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/トウダイグサ科：ニシキソウ、コニシキソウ、オオニシキソウ/アカバナ科：ユウゲショウ/オシロイバナ科：オシロイバナ/ハナシノブ科：シバザクラ/モクセイ科：キンモクセイ

観察した生き物の記録



今回のてがたんのテーマは「秋の生き物たち」でした。あいにくの天気でしたが、館内で昆虫の成長や越冬について話をきいた後、秋に見られる昆虫や鳥、植物を観察することができました。



今月の案内人 弘實さと子さん 小泉伸夫さん



① 定点観測のコブシは、鮮やかな赤い実を付けていました。



② ジャコウアゲハの終齢幼虫を観察。さなぎで越冬します。



③ アカタテハの幼虫。トゲがあるが毒はありません。成虫で越冬します。



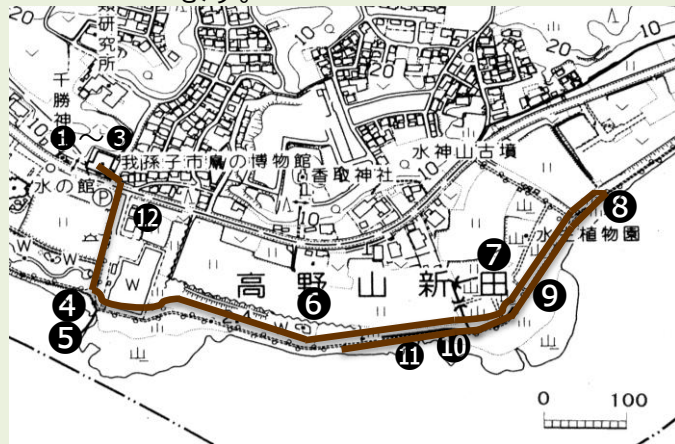
④ 単独行動中のオンブバッタ。卵で越冬します。



⑤ 巣を張るオニグモ。卵のうで越冬します。



⑨ アキアカネのオス。メスと比べて腹部の赤みが強い。卵で越冬します。



歩いたルートと観察した生き物



⑩ 白い模様が一行に並びイチモンジセセリ。長距離移動をするセセリチョウの仲間。



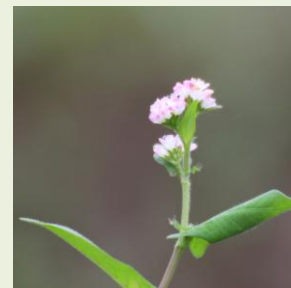
⑥ コスモスの上にとまってさえずっていたホオジロ。



⑦ 数羽の小さな群れで移動していたカケス。



⑧ 市民農園前の人工干潟でセイタカシギも観察できました。



⑪ 夏の終わりから秋にかけて見られるミゾソバの花。



⑫ 幼虫で越冬するミノガの仲間。俳句では秋の季語とされます。

今月の鳥 ヒヨドリ (スズメ目ヒヨドリ科)

我孫子市では10月に入ると、昼間に南の方へ群れをなして移動するヒヨドリをよく見かけるようになります。通年見られる身近な鳥ですが、一年中あまり移動しない個体群と、渡りをする個体群がいます。どこから飛来してどこへ向かって移動するのか、詳しいことは分かっていません。「ヒーツ、ヒーツ」と少し控えめな鳴き声が聞こえてきたら、集団で飛ぶヒヨドリを探してみましょう。



渡りをするヒヨドリの群れ

てがたんにご参加ありがとうございました。次回もお待ちしております。